

発行/鈴鹿市ボランティア連絡協議会
〒513-0801 鈴鹿市神戸地子町 383-1
TEL059-373-5750 FAX059-382-7330

企画・編集/The ぼらんていーあ編集部

目次

- ◇ふれあい広場鈴鹿の取組・他写真
- ◇各部会会長・ステージと団体紹介
- ◇各部会・模擬店イベント・写真
- ◇関係者の声 ・編集後記に変えて

★ ふれあい広場鈴鹿の取組

鈴鹿市ボランティア連絡協議会会長 戸口孔二

新型コロナウイルスの影響を受け4年振りに開催した第34回ふれあい広場鈴鹿は天候に恵まれ多くの参加者を迎えて開催されました。

鈴鹿市ボランティア連絡協議会（以下 ボラ連）では、実行委員の参加と、

1. 事業部会の取組で南アーケードで「いこいの家 麦」がコーヒーとシフォンケーキの販売を行い好評で完売しました。
2. 弁天公園の屋外テントでは、ボラ連の紹介コーナーとしてモバイル Wi-Fi を利用し広報誌の配布やスマホを使った WEB サイトの見方指導などを行いました。
3. ハンター建物内のセンターコートで災害への備えとして「わたしも出来る防災活動」をテーマに情報バンクの協力依頼や避難所で使用する段ボールベッドや簡易トイレなどの紹介を行いました。

新規作成したレインボーカラーののぼりの下で、藤井部会長を中心に取組んだ事業部会の活動はボラ連の運営委員が全員参加したふれあい広場鈴鹿と成りました。



広報誌の次回発行が R6年3月のため WEB 限定版を発行しました。

第34回ふれあい広場鈴鹿

令和5年10月7日（土）

鈴鹿市
ボランティア連絡協議会



鈴鹿市
ボランティア連絡協議会

ふれあい広場鈴鹿イベント

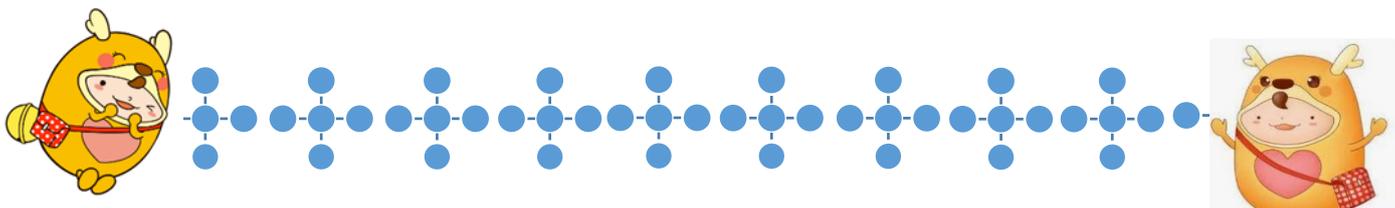
☆☆☆ 事業部会より ☆☆☆

コロナも収まりつつある 10 月 7 日「第 34 回ふれあい広場鈴鹿」が 4 年ぶりに開催されました。少し風は強かったけれど、真夏を思わせるような晴天の下、たくさんの方が来場されました。

今回は新しい取り組みとして、ボラ連は模擬店、ボラ連活動紹介、防災活動紹介と 3 ブースの参加でした。ブースへの来場はもう少しでしたが、「ボランティア連絡協議会」の“のぼり”が人目を引き、すれ違う人の視線が感じられて、掲示のパネルがもう少し大きければとか・・・これから続けて行く上での課題はいろいろありますが模擬店も完売、情報バンク入会等ボラ連の活動が少しでも皆さんの目に止まったこと良かったと思います。

ふれあい広場実行委員、ボラ連運営委員の皆様ご協力ありがとうございました。

(事業部会 藤井真澄記)



館内中央ステージ参加 8 団体の写真とコメントをご紹介します。

1. モニカ♪モニカ
2. たんぽぽハーモニー
3. 三重アコーディオン協会
4. 琴清会
5. 白子マジックサークル
6. ハピレレ
7. くじら合唱団
8. 鈴鹿ゴスペルクラブ



あったかステージ参加団体に下記の質問から 2 問回答を頂きました。

質問① ふれあい広場に参加された感想を、どんな事でもいいのでお聞かせください？

質問② 今回のふれあい広場に参加して特に気づいたことはありましたか

質問③ ボランティアの所属団体に参加、興味を持ったきっかけはどんな事でしたか

質問④ ボランティア活動は、貴方の人間関係や人生の中でどれくらい占めていますか？

質問⑤ ボランティア活動を通じて一番良かったことはなんですか

質問⑥ 日頃、ボランティア活動で、どのような自己啓発がありましたか。

質問⑦ 昨今、ボランティアをされる方が減少するなか、アイデアがあれば教えて下さい。





1.モニカ♪モニカ

質問① ふれあい広場に参加された感想をどんな事でもいいのでお聞かせください？

スタッフが、演奏する団体や演奏者に気配りしてくれて演奏しやすいように、準備万たんで、気持ちよく演奏できました。発表の場を与えてくれてありがとう。こういうイベントでなくとも平日でも、人がいなくとも演奏の場として使わせてもらおううれしいなー

質問⑥ 日頃、ボランティア活動で、どのような自己啓発がありましたか？

ボランティア先の方々に聞いていただく為に自分1人で技術の向上をめざし練習したり他の人の吹く曲に感心して自分も吹いてみようと思って練習したり、合奏の練習では伴奏に合わせ、他のパートの音を聞いてそれに合わせ、皆で心一つにして練習する事もとても良い自己啓発と思っています。



2.たんぽぽハーモニー

質問① ふれあい広場に参加された感想を、どんな事でもいいのでお聞かせ下さい。

今回、防災コーナーで、防災トイレの体験をさせて頂きました。

段ボールなど、活用できる物は沢山あるんですね。

家に帰って、しまい込んでいた「災害用トイレセット」を開けて確認しました。

日頃からの防災に対する心構えが大切だと改めて感じました。

このような交流を通して、日頃からの人と人との交流、つながり、結びつきは、災害時にも大きな力を発揮するのでは、と感じました。

質問⑥ 日頃、ボランティア活動で、どのような自己啓発がありましたか。

私たちは、一人一人の出来ることを集めて、内容を決めて、慰問に行っています。

紙芝居、朗読、クイズ、体操、ハーモニカ、リコーダー、オカリナの演奏等です。
実際に、自分には出来ないことを、見て聞いて、凄いなと思う事が沢山あります。
触発を受け、自分自身もスキルアップをしたいと感じます。
また、施設での、ご年配への接し方、関わり方など、ボランティアを通して自然に学ばせて頂いていると感じています。
役員の方々、お疲れ様でした。
楽しいひと時を過ごさせて頂きました。ありがとうございました。



3.三重アコーディオン協会

質問⑦ 昨今、ボランティアをされる方が減少するなか、アイデアがあれば教えて下さい

ボランティア活動に対してのイメージが堅苦しく、正義感の強いものになりがちですが、自分達は、もっと気楽に考えて活動させていただいております。好きな音楽を通じて、一瞬でもどなたかが、ホッと感じていただける時間を作り出すだけでもボランティア活動ではないかと思っております。

質問② 今回のふれあい広場に参加して特に気づいたことはありましたか

会場にプログラムが貼り出されていれば、わかりやすかったかもしれません。チラシをお持ちの方もいらっしゃいましたが・・・



4.琴清会（きんせいかい）

質問③ ボランティアの所属団体に参加、興味を持ったきっかけはどんな事でしたか

大正琴習い出して家ではなかなかひかないので、ボラに出て少しでも多く弾いて練習したいと思いました。

質問⑤ ボランティア活動を通じて一番良かったことはなんですか

よろこんでいただき、いろいろの方と交流でき、自分の宝にしていきたいと思います。



5.白子マジックサークル

質問① ふれあい広場に参加された感想をどんな事でもいいのでお聞かせください?

職員の方々の会場準備や役割分担がしっかり出来ておられ、とても演じやすく、とても楽しい日を過ごさせていただきました、又、次回是非参加させていただきたくよろしくお願い致します。

質問⑤ ボランティア活動を通じて一番良かったことはなんですか

人の輪が年齢とともに広がり、貴重な日を過ごす日が多くなった。



6.ハピレレ

質問① ふれあい広場に参加された感想を、どんな事でもいいのでお聞かせください?

なかなか発表の場がないのでありがたい。

質問⑤ ボランティア活動を通じて一番良かったことはなんですか

聞いて頂く方々とふれあえる。



7.くじら合唱団

質問③ ボランティアの所属団体に参加、興味を持ったきっかけはどんな事でしたか

介護施設(デイサービス)というと、介護を受ける側、支援される側と捉えられますが、社協様のボランティア活動を見て、私たちが誰かの役に立てると希望が持てました。

質問⑤ ボランティア活動を通じて一番良かったことはなんですか

認知症の人の夢や希望につながっています。

市民会館をはじめ、人前に出て「ハンドベルの公演がしたい、出たい」その気持ちが嬉しく思ってます。



8.鈴鹿ゴスペルクラブ

質問⑤ ボランティア活動を通じて一番良かったことはなんですか

慰問に行った時、皆さんが励まされたり、元気が出た と喜んで下さったことがうれしかったです。

質問① ふれあい広場に参加された感想を、どんな事でもいいのでお聞かせください?

皆さんが聞き入って下さり、歌詞が良かったと言って下さり感謝です。



第34回ふれあい広場鈴鹿

令和5年10月7日(土)

「あったかステージ」の
動画などが見えます



鈴鹿市
ボランティア連絡協議会



屋外わくわくステージ @ 弁天広場	
10:00	オープニング ● 歓迎セレモニー きしたこども園
10:40	中村好江わくわくHOT5
11:25	福祉施設・団体発表 ● Happy Joy Happy ● きれいげポートステーション
12:20	地域福祉サミット
13:00	ボランティア発表 ● 花の和 リビート ● うりずんの風
14:20	フィナーレ ● Monica's Bounce(モニカス バウンス)

模擬店「いこいの家 麦」・・・



防災部会イベント

☆☆☆ 防災部会より ☆☆☆

歌や演奏など華やかなステージで賑わうセンターコートの一 corner で、ボラ連防災部会の展示ブースを展開しました。広報誌「The ぼらんてい〜あ」に掲載してきた防災コラムや、新たな取り組み「情報バンク」などをパネルで展示し多くの方に見て貰いました。アンケートにもご協力していただきありがとうございました。（結果は記載していますのでご覧ください）

また、鈴鹿市防災危機管理課や社協から段ボールベット・簡易トイレ関連グッズの提供を受け展示させて貰いました。ベットに寝転び“意外と広いね”と寛いでおられた親子や、発災後には使用制限が考えられるトイレグッズを手にし、凝固剤で固めゴミに出す方法を試される方、プライベートテント内で簡易トイレの座り具合を確かめる方など、沢山の方が防災グッズを楽しんでおられました。

情報バンクへの手応えと防災グッズ体験を通して、備えの必要性を実感したという声をいただき有意義な一日でした。
(防災部会 藤井末邦記)



◎防災部会イベント「情報バンク」のアンケート結果(回答 14 名) R5.10.7

情報バンク・・・

活動目的 「災害で被災して困っている方へ“私の出来る一役”で何かやりたい」

共通ワード “やってみようとする人や団体がやれる範囲で無理なく繋がっていく”

・・・啓発・実践活動です

1 関心を持たれましたか。 (14)はい (0)いいえ

2 もっと知りたいですか。 (14)はい (0)いいえ

3 必要だと思いますか。 (14)はい (0)いいえ

4 ボラ連加入団体の方にお聞きします。

情報バンクに登録してもよい (3)はい (11)いいえ

- ・段ボールベットが体験出来てよかった。思ったより丈夫だった。
- ・防災は大切な事だと思います。トイレについても便利なものが多い事を知りました。ありがとうございました。
- ・災害に備えている積りでもトイレなど、まだまだ不十分だと感じました。ありがとうございました。
- ・凄く軽く、だんだんいいものが出来てくると思います。
- ・とても良かった。参考になりました。
- ・今後必要かな?
- ・困ってみえる方のニーズをお聞きし、少しでも私の出来る事をお手伝いしたいと思います。
- ・いつ来るか分からない災害に備え、みんなで情報を共有する。
- ・「情報バンク」という言葉を初めて聞きましたが、凄く分かり易く教えていただきました。トイレの体験もありがとうございました。備えていきたいと思います。
- ・情報バンクの登録を知らなかった。

(防災部会 藤井末邦記)



『かりんちゃん』イベント

☆☆☆ 広報部会より ☆☆☆

『可愛い(びっくり)さわらせて、写真撮らせて』と1人2人の輪ができ、100人以上の方々と手を取り?足を取り?撫で撫でて触れあった。

ふれあい広場のなかでは、男も女も、老いも若きも、障がい者も健常者も皆が、とびっきり笑顔で輪になれる、そんなイベントであった。

マスコット『かりんちゃん』名称は『鈴鹿』を反対に読んだもの。

鈴鹿福祉の未来を

かりんちゃんと共に

これからも宜しくネ。

ばーばもボランティアで少しでも笑顔が届けられるように頑張ろう〜と。

(かりんちゃんを愛する礼子ばあば記)



広報部会イベントと屋外風景

☆☆☆ 広報部会より ☆☆☆

今までのボラ連バザーはコロナ対策で取りやめとなりましたが、新たに2ブースを頂きました。広報部会屋外テントブースでは、新色ののぼり旗を掲げ、ボラ連の組織・活動説明パネルの掲示や社協のモバイル Wi-Fi を活用して、昨今の情報伝達 (QRコード) の認知度 UP・操作説明を図るとともにボラ連の広報誌 (The ぼらんていーあ) と昨年発行のボランティア団体紹介誌をお配りしました。

さて、新型コロナウイルス感染症発症の折、台湾で対処したオードリー・タン (デジタル) 大臣は「自分の経験では17歳未満と70歳前後の人が次世代への関心が強い」と述べていました。

今後とも、各ボランティア団体・個人の活動報告を紹介し関係性を育み、近隣地域との交流を深め、多くの人々の知恵や工夫を学び入れて、次世代から Z 世代へボランティア活動をつなげたいと思いますので、よろしくご協力をお願いします。 (広報部会 高本英人記)



模擬店ブース・・・

☆☆☆ 「いこいの家 麦」 ☆☆☆

グループ

インタビュー訪問 “いこいの家 麦”



ボラティアグループの集いの場から、地域の中の居場所となっている「麦さん」の活動を代表の伊藤良子さんへお聞きしました。

- 

1 「はなの会」というグループの皆さんで「麦さん」を立ち上げられたそうですね。



伊藤さん：はなの会のメンバーが旭ヶ丘の「北さんち」の施設長と知り合い、「お隣のお店をボランティアで何かしませんか」と言って頂き、皆さんに集ってもらう喫茶店を始めることにし、麦と名付けました。はなの会は高齢者の方へ手作りのお弁当を届けていました。
- 

2 「いこいの家 麦」。グループ名にこめた思いをお聞かせください。



伊藤さん：星野富弘さんの詩、麦の穂から取りました。集合体で有りながら、それぞれの個性を持って、上に真っ直ぐ伸びている「太陽の弓矢」麦のようでありたい。
- 

3 設立から 22 年。紆余曲折があったと思います、今までの振り返りと今後に向けてお話し願います。



伊藤さん：旭ヶ丘から箕田の古民家に移った時は大変でしたが、みんなで楽しく頑張りました。今は地域の皆様に利用して頂いています。老若男女、障がいのある方、ない方、全ての方にゆっくりとくつろいで頂ける場所で有りたいと思います。

言葉少ない伊藤良子さんですが、地域の中の「みんなの居場所づくり」へ、仲間の皆さんと楽しく頑張って来られた思いが伝わってきました。

「継続は力なり」次世代へこの思いが引き継がれ「麦さん」のような活動が広がることを願っています。
(インタビュアー 皆木るみ子)

ふれあい広場鈴鹿

☆☆☆ 鈴鹿市社会福祉協議会 ☆☆☆

田中 GL

ふれあい広場では地域の皆様やボランティアの方にご協力いただき、楽しいステージ運営ができました。この度はご協力いただきありがとうございました。



生活支援コーディネーターの皆さん

当日は撮影係でたくさん写真を撮りました。

初めてのふれあい広場でいろんなブースを見れて良かったです!!

(白塚山 航さん)



当日は屋外ステージを担当させていただきました。

ボランティアや地域の皆様の素敵な演奏やパフォーマンスを間近で鑑賞することができ、仕事ながら楽しいひと時を過ごすことができました。(中村 和馬さん)

屋外わくわくステージを担当しました。普段なかなかお話しすることができないため、ボランティアのみなさんとお話しできたことが嬉しかったです。またお話しさせてください♪

(長谷川 実咲さん)



(司会の長谷川さん・中村さん)



(齋木さん・中村さん)

センターコートがあったかステージを担当しました。

あったかステージでは、鈴鹿市ボランティアセンターに登録のある上演団体の皆様の発表会を行いました♪

皆様の演奏や合唱、マジックを間近で体験することができ、とても嬉しかったですし、楽しいひと時を過ごせました。



皆様本当にありがとうございました。また来年もよろしくお祈いします♡ (齋木 葵さん)



鈴鹿市ボランティア連絡協議会

鈴鹿市社会福祉協議会

戸口会長



皆木副会長



藤井真澄



藤井末邦



高本



藤田



吉原



運営委員



ボランティア



齋木さん



長谷川さん



中村さん



白塚山さん



田中グループリーダー



第34回
ふれあい広場鈴鹿
ふくしイベント



「輪でつなぐ
あかるい社会
みらいの社会



社協ボラ連

ボラ連と社協の一人一人を「輪でつないで」みました。

編集後記に変えて

☆☆☆ ボラ連役員 ☆☆☆

戸口 ・ふれあい広場の実行委員会では副会長を担当、4回の委員会に参加した。ボラ連はR6年フィナーレ（隔年担当）で閉会の挨拶を行う予定です。

ボラ連は事業部会の事業として取組みました。

・ボラ連としては模擬店含めて3ブースを担当

- 1 ボラ連活動のPRブースを出し、広報誌の配布やスマホでネット情報の見方を実施。
- 2 想定した災害対応に向けて、防災部会が啓発活動を行った。
 - ・新規取組の「情報バンク」の案内と募集を行った。
 - ・鈴鹿市の協力で段ボールベッドの展示説明を実施。
 - ・社協から簡易トイレやテント付トイレの提供を受けて展示。

吉原 キッチンカーや沢山のブースがセッティングされ、賑やかな催しものでした。

いつも野外ステージ近くでゴミの分別コンテナを並べ黙々と受け入れ作業をこなして頂いている「鈴鹿市老人クラブ連合会」の地味な姿に頭が下がりました。

野外ステージの締めは、会場の皆さんと踊りか歌でにぎやかな雰囲気の中、発散しつつした満足感に浸って終わりたいところです。次回に期待します。

高本 コロナ禍越え！？の新たな一歩として身近にボラ連・各団体の信頼と継続のボランティア活動を感じていただけるように広報誌の配布や組織の流れを掲示してみました。

新加入団体もブースで活動案内をしてよかったので、希望団体を募集します。

今回のふれあい広場を社協HPと右にQRコードを載せていますのでご覧ください。



藤井末邦 「やはり、ふれあい広場の“ワイワイガヤガヤ”の空気感は居心地が良い。

また、市民交流の大切な場として再確認すると同時に規模拡大をお願いしたい。

フィナーレでアフリカ音楽に乗った“スズカ”の大合唱、この一体感が魅力だね！」

皆木 「お久しぶり！お元気ですか?!」『ここに来ると誰かに会えるから必ず来ます』

「お会いできてよかった！」まさに～ふれあい広場～

沢山のボランティア仲間や以前勤務していた施設の皆さんと会えました。

藤田 [紡ぐ輪 World ミ・ラ・イ・ヘ]

藤井真澄 コロナ禍を越えて新しい企画のもとで始まったふれあい広場！ キッチンカーの大行列、壮大でした。歓声いっぱいの屋内ステージ。ひときわ人だかりの目立つ“ホンダヒート”の面々。子供達に囲まれたカリンちゃん・・・まさに輪でつなぐ明るい社会でした。未来の社会につながることを望みます。

鈴鹿市

ボランティア連絡協議会

第 35 回に向けて、社会に寄り添う意識をもって
ボランティア精神と活動を共有しましょう



最後まで見ていただき
ありがとうございました。